

リニアインパクト最大化プロジェクト ～2037年に三重県が変わります～

この活動では、早ければ2037年に全線開業が予定されているJR東海のリニア中央新幹線によって、三重県にどのような効果がもたらされるのか、三重県におけるリニアインパクトを分析し、三重県庁交通政策課の方々と共に協力して、このインパクトを最大化できるよう様々な活動を行っています。

TEAM DATA

メンバーカー数：14名
活動場所：伊勢市
実施主体：三重県地域連携部交通政策課
担当教員：笠原正嗣（現代日本社会学部）
活動年度：R03



1年活動まとめ・考察（成果と課題）

この活動の現在の所までの成果としては、主に4つことが上げられます。

1つ目の成果は、ポスター制作についてです。この活動では、観光グループ・地域活性化グループ・リニア理解グループの3つのグループに分かれて、リニアに関するポスターを作りました。このポスターには、三重県に設置予定のリニア中央新幹線龜山駅を利用して、県外の方が三重県を観光できるように、各地域の観光スポットをまとめたり、我々がおすすめする観光プランなどを掲載しました。それらによって、地域がどのような工夫をしたり新たな投資を行えば活性化するのかを考察し、リニアの仕組みや技術、開業後運行方法などについても明らかにしました。

2つ目の成果は、県イベントへの展示及びお手伝いについてです。この活動では、県のブースの一角をお借りして、我々が作成したポスターやメンバーの一人が作成したリニアのジオラマを展示し、多く県民の方に見ていただきリニアに対する理解を深めていただけたような活動をしました。また、同時に県が行っている展示や企画のお手伝いもさせていただきました。

3つ目の成果は、リニア鉄道館及びリニア建設工事現場の見学についてです。この活動では、リニアに対する理解を深めるために、リニア鉄道館まで足を運んでたくさんのことを学びました。また、建設中のリニア中央新幹線名古屋駅をビルの上から見学し、工事の進捗状況を確認しました。

4つ目の成果は、リニアグッズの選定です。この活動では、県から提示されたリニアグッズの中から、我々メンバーが検討して、傘カバーを三重県の意見として選定しました。

今後の課題として、コロナ禍でイベントなどが開きにくく状態の中で、どのような活動を実施していくかです。これからもリニアの情報を発信し続けることができるよう、様々な発信方法を検討していく必要があると考えました。



(10月) ポスター発表報告会

(11月) 打ち合わせ

(12月) 県イベントへのポスター展示及びお手伝い、リニア鉄道館見学及び名古屋駅建設工事現場の見学、リニアグッズの選定



活動を通して学んだこと

この活動を通して学んだことは、大きく分けて2つあります。

1つ目は、改めて三重県について調べたり考えたりして、新たな魅力を再発見できたことです。リニアがもたらすインパクトを最大化させるためには、現状を正しく理解し、その上で見い出した新たな魅力をこれからの発展に結びつけるための原動力が必要になります。本CLL活動が少しでも貢献できるのではないかと意識できることは大変意味があったと思います。

2つ目は、仲間と共に協力して一つの事を成し遂げる力が身に着いたことです。このCLL活動で行った様々なプロジェクトを通して、仲間と力を合わせ協力することの大切さを、改めて学ぶことができたと思います。

実施主体からのコメント

三重県地域連携部交通政策課 ご担当者様

リニア中央新幹線中間駅の設置を龜山市内に誘致していることを知っていますか。最短あと15年ほどで品川・大阪間の全線開業が予定されています。

活動メンバーの皆さんには、まずリニアのこと学んでいただき、次に、開業による様々な効果（リニアインパクト）を最大限に引き出すためのアイディアや課題解決策を出し合っていただきました。開業がしばらく先であるため、頭の中で色々と想像することは難しかったかと思いますが、将来実際にリニアを利用される若い世代の皆さんから多くのアイディアをいただくことができました。

また、学んだことや他の人に伝えたいことを整理したうえで、研究成果のポスター制作を依頼しました。全体ミーティングとは別に、3グループに分かれてオンラインで作業をすすめていただきました。限られた紙面の中で伝えたい内容の確認や、各グループのポスター内容の重複回避や表現統一などの調整についても全体で検討し、しっかりと取り組んでいただきました。

リニア開業に向けて、引き続きの連携をよろしくお願いいたします。

担当教員より

現代日本社会学部 笠原正嗣

本活動は初夏から新たにスタートしたプロジェクトで、まさにゼロからの「発車」でした。リニアモーターカーという新時代の超高速鉄道が三重地域にもたらす効果と可能性（すなわち「リニアインパクト」）を考える取り組みに、私も大いに刺激を受けながら参加することができました。コロナ禍での対面活動の制約から、もどかしさを感じる事も多少ありましたが、ポスター制作等を通じて県のリニアPR活動に少しですが参画できたことは良かったと思います。龜山市に駅候補地が決定したので、新たなステージでの活動の進展を期待しています。



成果物／制作物

《リニア中央新幹線について学ぼう！》	《リニア中央新幹線について学ぼう！》
リニア中央新幹線で駿河がもっと輝かになる！	三重県の観光スポットマップ
近畿をめぐる、東から西へと走るリニアの運行ルート	リニア中央新幹線の運行ルートと、その周辺の主要な観光スポット
近畿をめぐる、東から西へと走るリニアの運行ルート	リニア中央新幹線の運行ルートと、その周辺の主要な観光スポット
リニア中央新幹線の運行ルート	リニア中央新幹線の運行ルート

リニア観光ポスター（一部抜粋）